

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	スポーツ行財政論(Administration and Public Finance for Sports)		授業コード	E002251
担当教員名	竹田 隆行		科目ナンバリングコード	E30704
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解できる内容になっています。ただし、2/3以上の出席がなければテストを受けることができません。			
受講心得	スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方を持っています。こだわりは必要ですが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたいです。			
教科書				
参考文献及び指定図書	スポーツの政治学(杏林書院)			
関連科目	地域とスポーツ、スポーツ経営学、スポーツリテラシーV・スポーツ組織論			

授業の目的	<p>スポーツと政治は、我々の社会において最も縁遠い領域のように考えられるかもしれませんが、両者の触れあう接点は極めて多いのが現実です。スポーツの持つ好ましい各種のイメージを様々な意味において、政治はスポーツを利用し、スポーツ側も莫大な経費を要する施設の整備や大会運営において、政治を利用するのです。</p> <p>本講義では、スポーツと政治、スポーツとお金(財政)について学びます。スポーツ政策は、わが国の場合、スポーツ行政を意味します。文部科学省だけでなく、各省庁がそれぞれの視点でスポーツ政策を展開しています。現状を把握するとともに、問題点を明らかにし、改善策を検討します。</p>
授業の概要	スポーツ行政について学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：○第1回 スポーツ政策の歴史的展開 スポーツ政策について説明します。スポーツ政策の歴史を振り返ります。	課題・確認
第2週：○第2回 スポーツ政策の歴史的展開 スポーツ政策について説明します。スポーツ政策の歴史を振り返ります。	課題・確認
第3週：○第3回 わが国のスポーツ政策 スポーツ振興法、スポーツ振興基本計画、スポーツ基本法について説明します。	課題・確認
第4週：○第4回 わが国のスポーツ政策 スポーツ振興法、スポーツ振興基本計画、スポーツ基本法について説明します。	課題・確認
第5週：○第5回 わが国のスポーツ政策 スポーツ振興法、スポーツ振興基本計画、スポーツ基本法について説明します。	課題・確認
第6週：○第6回 わが国のスポーツ行政の現状 スポーツ行政の現状について説明します。	課題・確認

第7週：○第7回 わが国のスポーツ行政の現状 スポーツ行政の現状について説明します。		課題・確認
第8週：○第8回 地方自治体のスポーツ行政 我が国スポーツ行政は文科省の指針の基、地方自治体に合わせた形でスポーツ行政が行われます。その仕組みについて説明します。		課題・確認
第9週：○第9回 地方自治体のスポーツ行政 我が国スポーツ行政は文科省の指針の基、地方自治体に合わせた形でスポーツ行政が行われます。その仕組みについて説明します。		課題・確認
第10週：○第10回 世界のスポーツ政策の動向 世界のスポーツ政策について説明します。		課題・確認
第11週：○第11回 世界のスポーツ政策の動向 世界のスポーツ政策について説明します。		課題・確認
第12週：○第12回 スポーツ振興財源 スポーツ行政の財源について説明します。		課題・確認
第13週：○第13回 スポーツ振興財源 スポーツ行政の財源について説明します。		課題・確認
第14週：○第14回 スポーツ政策の課題 スポーツ政策の課題について説明します。		課題・確認
第15週：○第15回 スポーツ政策の課題 スポーツ政策の課題について説明します。		課題・確認
第16週：期末試験 これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	これまで経験してきたスポーツ観にとらわれずに講義にのぞんで欲しい。
【知識・理解】	スポーツ行政の現状理解を理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	講義で学んだことを地域で活かせるアイデア・企画立案ができることを期待する。

○成績評価基準(合計100点)	合計欄	100点
------------------------	-----	------

到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	10点		
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	70点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点		
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>			

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	